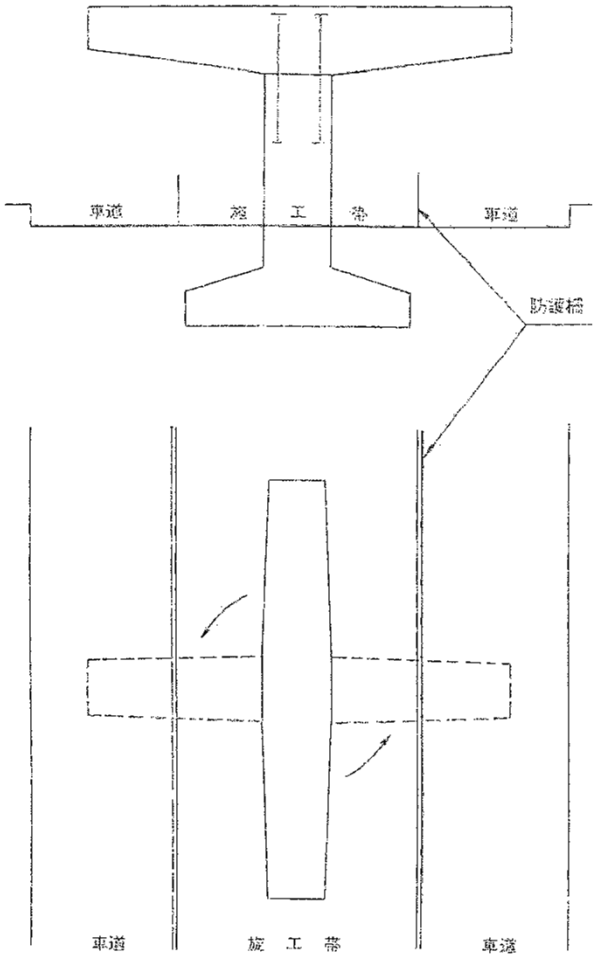
概要 summary

既設道路の中央分離帯にT形橋脚を設置する場合に、張出ばりを既設道路と平行に製作し、回転させる工法です。支保工設置時、解体時も交通に支障を与えません。また車道上での作業かないので落下物の危険がありません。

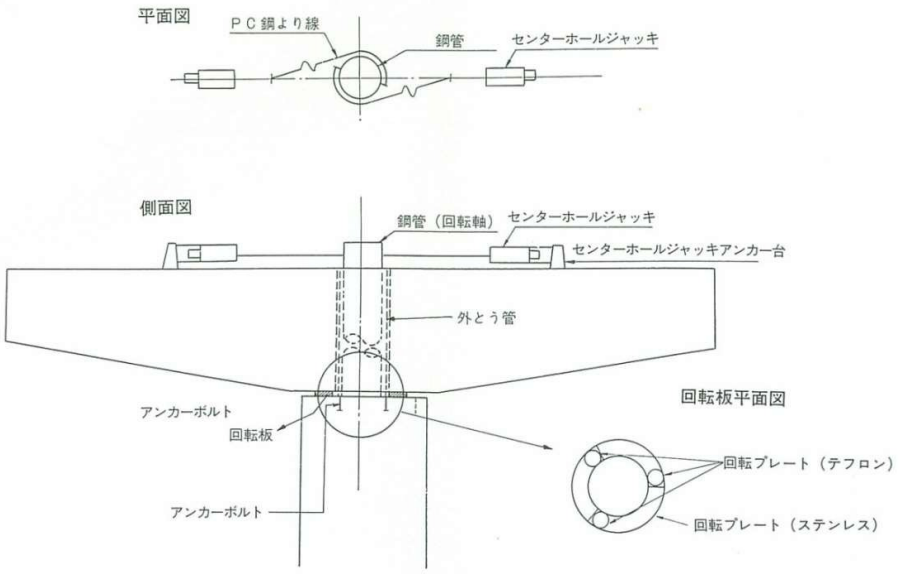


特　長

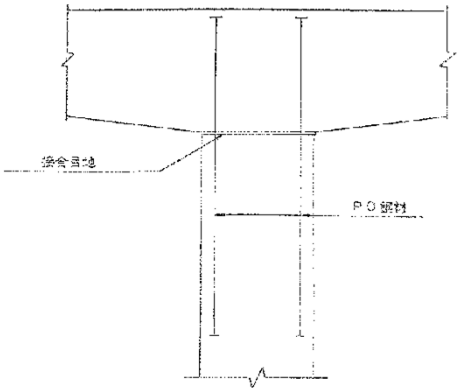
- 交通量を最大限に確保できます。
- 車道上での作業がないので落下物の危険がありません。
- 支保工設置時、解体時も交通に支障を与えません。
- 支保工の解体が簡単で工期を短縮できます。
- 夜間作業が少ないので作業が安全です。

施工 execution

「梁」の回転は、あらかじめ開店時の摩擦抵抗を小さくするために「梁」と「脚柱」との間に回転板（テフロン）をセットしておきます。つぎに「脚柱」に固定された回転軸（鋼管）に巻き付けられたPC鋼線を2台のジャッキで引張ることにより偶力を与え「梁」を回転させます。



「梁」と「脚柱」の接合は、接合目地（接着剤又はコンクリート）の処理後、右図のようにPC鋼材を緊張することによりプレストレスを与えて結合します。



実績 achievements

・国道2号線　観音高架橋、小熊野立体交差橋　他

株式会社ピーエス三菱
〒105-7365 東京都港区東新橋1-9-1　東京汐留ビルディング18F
技術本部技術部　ＴＥＬ：03-6385-8054　ＦＡＸ：03-3536-6953